取扱説明書

バンドソー　NBS-200

本機は、ＤＩＹ商品として開発された製品です。一般家庭用としてご使用下さい。

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになってからご使用下さい。
尚、この取扱説明書は大切に保管して下さい。

NAKATOMI

【安全上のご注意】

◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。

◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 警　告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・運送途中の衝撃等により、商品が破損したり、取付部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して正規の状態でご使用下さいますようお願い致します。
・差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れている事を確認し、使用後及び停電の際にはスイッチを切り、差し込みプラグを抜くよう心がけて下さい。
・整備点検・部品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、差し込みプラグを電源から外して下さい。
・運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いた時には直ちに使用を中止して下さい。
・ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかり締め付けられているか確認して下さい。
・製品は大事に扱って下さい。誤って落としたりぶつけたりした場合には、異常の有無を確認して下さい。
・使用中はブレード及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
・電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用しますと、モーターが発熱して危険です。低い電圧で使用すると力不足になります。
・あまり小さい、あるいは薄く細かな加工素材の切断は危険です。ブレード類は不注意によって重大なケガをする場合がありますので、ご注意下さい。
・感電防止のため、必ずアース（接地）してご使用ください。またアース線をガス管に接続しないでください。爆発の恐れがあります。
・加工素材に針などの異物がないか確認して下さい。不注意によって重大なケガをすることがあります。
・揮発性可燃物（シンナー、ガソリン等）の近くでは、絶対に使用しないで下さい。危険です。
・湿った場所、濡れた場所での使用は避けて下さい。感電事故の原因になりモーター絶縁を低下させます。
・作業場所には、作業関係者以外は近付けないで下さい。特にお子様は危険です。
・作業中の手袋はお止め下さい。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
・作業時の服装は身軽なもので行って下さい。手袋、ネクタイ、袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあります。
・作業中は、安全メガネをかけ、防塵マスクを着用して下さい。
・調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後すぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、それらが外してあるか確認して下さい。
・本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿気の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けて下さい。
・アース線はガス管などには接続しないで下さい。爆発の恐れがあります。

注　意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

・能力を超えた作業は製品の故障や事故のもとです。切れ味の良いブレードを使用し、始動後、正規の回転数になってから開始して下さい。
・コードが切断ライン上から離れた位置にあることを確認して下さい。
・作業の能率や安全のために、切断材料に適したブレードを使用し、また使用説明に従って、各部がしっかりと取り付けられているか確認して下さい。
・安全な作業をするためには、作業場所はきれいに整理をし、十分な採光が必要です。
・切断中、材料を無理に押し付けたり、曲げたりするとブレードが破損する場合がありますので、ご注意ください。

●仕様

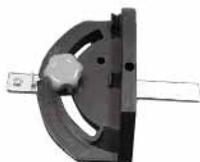
電　　　圧	１００Ｖ　５０/６０Ｈｚ
電　　　流	3.8/3.6A
消 費 電 力	350/300W
無負荷回転数	1340/1630min-1
ブレード周速	14.7m/s
ふところ深さ	190mm
最大切断能力	90度：80mm/45度：50mm
ブレード長さ	1425mm
テーブルサイズ	300×300mm
本 体 寸 法	W450×D400×H670mm 電源コードVCTF0.75×3芯　2m
質 量	16kg

※改良のため、製品の仕様・外観が変更となる場合がございます。
※( )の数値は、付属品装着時の値です。

●特長・用途

・切断作業が思いのままできます。
・テーブル角度を0～45°の範囲に設定できます。
・木工・真鍮・アルミ等の切断ができます。

●付属部品図

平行定規×1

マイターゲージ×1

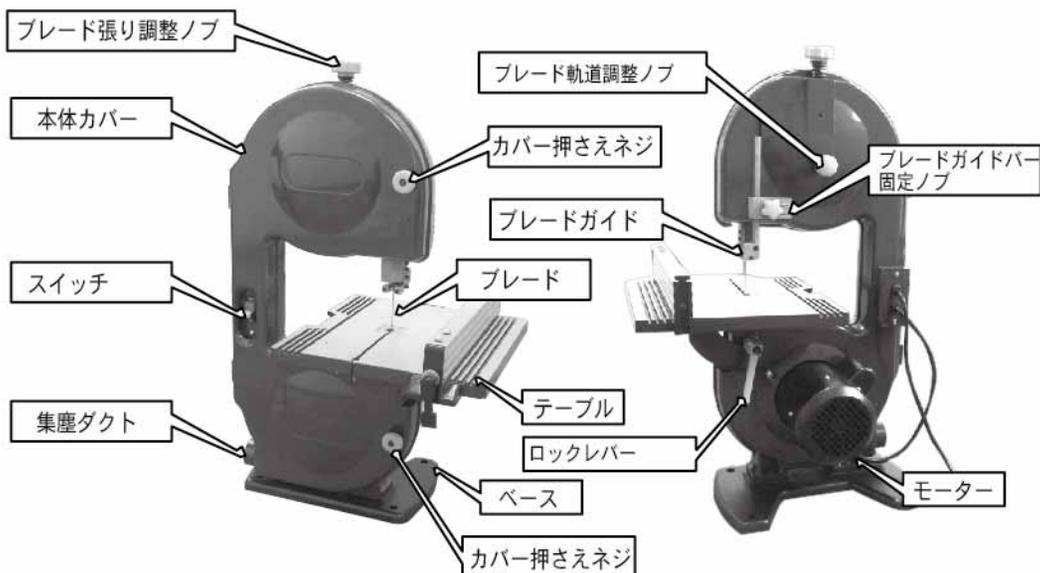
六角レンチ× 3

ロックレバー× 1
ワッシャー×1

テーブル× 1

ブレード6T(木工用)　　×1
ブレード14T（木工. 軽金属用）×1

●各部名称

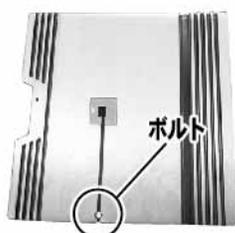
ブレード張り調整ノブ
本体カバー
カバー押さえネジ
スイッチ
ブレード
テーブル
集塵ダクト
ベース
カバー押さえネジ
ブレード軌道調整ノブ
ブレードガイドバー固定ノブ
ブレードガイド
ロックレバー
モーター

●ご使用前の準備

⚠警　告

・必ず電源プラグは、電源から抜いた状態であることを確認して下さい。
　ブレードにヒビ、割れ等の　異常がないことを確認して下さい。
・ブレードを扱う際は、手、指等を傷つけないように十分注意して下さい。

■テーブルの取り付け

・付属のテーブルについているボルト、蝶ナットを外し(図A)、テーブルの溝を本体ブレードに合わせて差し込みます。(図B)
・テーブルの傾斜溝と本体の固定穴を合わせ、ロックレバーを差込、締め付けて固定します(図C)

図A

図B

図C

・ロックレバーは引く事で噛みあわせが外れ、フリーになります。
・締めこむ際はレバーを元に戻して回して下さい。

締め込みにくい場合にはロックレバーをフリーにした状態で、六角レンチで軽く締めこみ、固定穴にネジ山をかけてから、レバーで締め付けてください。

■集塵口

・本体裏側に吸塵口がついていますので、集塵機などを取り付ける事で切子の飛散を減少し、効率よく作業する事ができます。

・集塵口のサイズは外径45㎜、内径40㎜となりますので、内側、外側どちらでもサイズの合う物を差込、テープなどで固定してください。

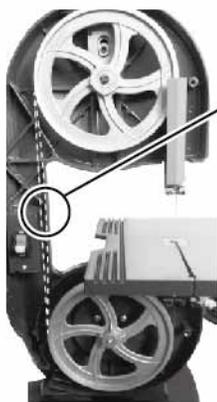
●調整作業

⚠警　告

・必ず電源プラグは、電源から抜いた状態であることを確認して下さい。
　ブレードにヒビ、割れ等の　異常がないことを確認して下さい。
・ブレードを扱う際は、手、指等を傷つけないように十分注意して下さい。
・出荷時点で調整済みとなりますが、運送中の振動などによりズレが生じる場合がございますので、
　そのような場合には調整作業を行って下さい。

■ブレードの張り調整

・ブレード張り調整ノブを時計回りに廻すとブレードが張り、反時計回りに廻すとブレードの張りがゆるみます。
・ブレードの張り具合は、両ホイールにかかったブレードの真中あたりを押してみることでチェックできます。
　指で押してみて、わずかにたわむ程度です。ノブのネジを緩め、カバーを開きチェックして下さい。

・ブレードの張り具合をかけすぎないように注意して下さい。ブレードの張りをかけすぎるとブレードが破損する
　場合があります。また、張りが弱いと、ブレードがホイールから外れてしまいます。

・カバーを開ける際は、図Aの2箇所のノブのマイナスネジをゆるめる事で開きます。
・ノブを回しても緩みませんので、ノブの中のマイナスネジをゆるめてください。

図A

■ブレードの軌道調整

・ブレードの張りがゆるかったり、きつすぎたりする場合、調整中にブレードが外れてしまうおそれがありますので充分にご注意ください。
・本体作動中の軌道調整は絶対に行わないで下さい。
・必ず電源プラグを電源から抜いた状態で行って下さい。

・本体カバーを開き、ホイールを手でゆっくりと時計回りに廻しながら、ブレードの軌道位置を確認します。

手で回しながらホイールに対しブレードのかかっている位置を確認する

・ブレードが左側にずれている場合(図B-1)、軌道調整ノブを時計回りに廻します。
・再度ホイールを手でゆっくりと回し、ブレードがホイールの中心(図B-2)にくるように調整します。
・ブレードが右側にずれている場合(図B-3)、軌道調整ノブを反時計回りに廻して中心にくるよう調整します。
・ブレードを交換した際にも、必ず軌道調整を行って下さい。
・軌道調整はブレードの張りを調整後、行って下さい。

図B-1

左より

時計方向へ回し調整

図B-2

正位置

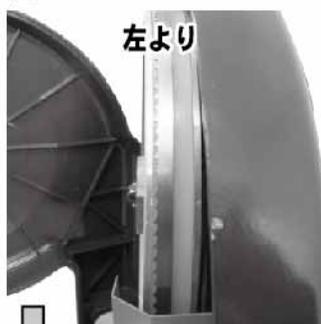
ブレード

ホイール

軌道調整ノブ

図B-3

右より

反時計方向へ回し調整

■ブレードガイドバーの調整

・ブレードガイドバーは、常に加工素材が切断される面にできるだけ接近した位置にセットします。
・固定つまみを反時計方向に回す事で、ガイドバーがフリーになりますので加工素材にあわせた高さに調整しましたら、
固定つまみを時計方向に回し、固定します。

■ブレードガイドの調整

1. 本体のカバーを開け、ブレードカバーを止めている2本の六角穴付ボルトをゆるめブレードカバーを横にずらし外します。(図C-1)
2. ブレードカバーを外しましたら、図C-2の③の六角穴付ボルトをゆるめ、ブレードガイド、ガイドピンのロックを解除します。
ガイドピンをブレードから1㎜程度の間隔のある位置に調整し、③六角穴付ボルトを固定します。(図C-3)
3. 図C-2の①の六角穴付ボルトをゆるめ、ブレードガイドを動かしブレードの山の一番低い位置にガイドピンの先端が来るよう
調整し固定します。(図C-4)

図C-1

ゆるめる
ブレードカバーを
横にずらし外す

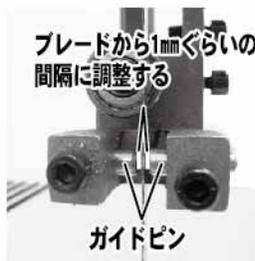
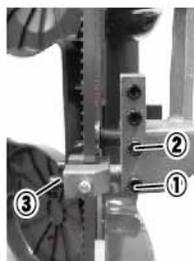
図C-2

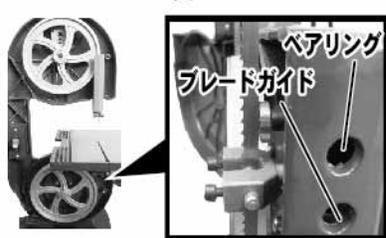
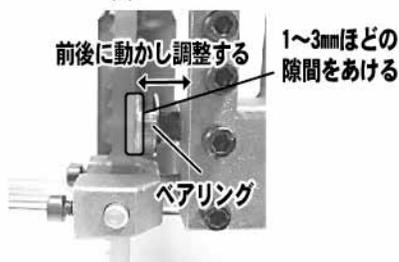
②
①
③

図C-3

ブレードから1㎜ぐらいの
間隔に調整する
ガイドピン

図C-4

ブレードガイド
前後に動かし調整する
ガイドピン
ブレードの山の
一番低い部分に
ガイドピンの
先端を合わせる

4. 図C-2の②の六角穴付ボルトをゆるめベアリングの位置を調整します。
ベアリングの位置はブレードの背中側から1～3㎜ほど後ろの位置に調整し、固定してください。(図C-5)
5. 上記までと同様にブレードガイド（下）も調整して下さい。
固定ネジの位置は図C-6を参照してください。

図C-5　　図C-6

■テーブルの角度調整

・ブレードに対しテーブルが90°となっているかを確認します。
・テーブルロックノブをゆるめ、テーブルの角度目盛りを0度にあわせ固定します。
(テーブルロックノブを緩めることで、テーブルがフリーになり、角度を変更できます。)
・ブレードとテーブルの角度は直角定規やスコヤを使い、計測して下さい。
・90°ではなく調整が必要な場合にはテーブル角度調整ネジを六角レンチで回して調整してください。

・調整後は、ご使用する際の任意の角度に設定してご使用ください。

●使用方法

■スイッチ

・スイッチは上に上げるとONに入り、下げるとOFFになります。
安全のためキースイッチになっております。
※使用しない時はキーを抜き取ってください。使用する際は、キーを差し込んでONにしてください。
キーを差し込まないとスイッチはONになりません。
保管する際、なくさないようにしてください。

※ご使用の際は、モーターの回転数が最高まで上がり、安定してからご使用ください。

■マイターゲージ/平行定規

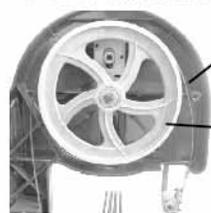
・テーブルの奥に平行定規をセットする事で定寸切断が可能です。
平行定規のロックレバーを上げるとロックが解除され、下げると固定されます。

・テーブルのマイターゲージ用溝にマイターゲージをはめ込む事で角度切断に便利です。
マイターゲージの固定ノブをゆるめ、任意の角度に設定しご使用ください。

■ブレード交換

※手などを傷つけないように充分に注意し、必ず電源をコンセントから抜いて行ってください。

・テーブルの蝶ナットを外し、本体カバーを開け、軌道調整ノブをゆるめてから、ブレード張り調整ノブをゆるめてください。

・ブレードの張りが無くなり、ホイールから外せるほどにゆるんだら、上側のホイールから順に外します。

・取り付けの際は逆の手順で行い、最後に必ず、張り、軌道位置、ガイドの調整を行ってください

●保守と点検

・ホイールに付いたホコリやクズは、ブラシで取り除くか木片でこすり落としてください。ナイフや溶解力のある薬品洗剤等は、使わないでください。

・テーブル、ブレードガイド、ベアリング等のホコリやクズはきれいに取り除いてください。

・コードや本体は、オイルやグリースによる老朽化を防ぐために乾いた布で拭いてください。

※注　必ずスイッチをOFFにしてプラグを電源から抜いて行ってください。

●トラブルの原因と対策

故障の種類	原　因	対　策
モーターが動かない	・電源からの入力無し ・モーターの結線不具合 ・スイッチの故障 ・モーターの焼損	・プラグ・電源コードの点検 ・モーターの結線修理 ・スイッチの交換 ・モーターの交換
回転数が上がらない	・電圧が低い ・延長コードが長すぎる	・正しい電圧で使用 ・延長コードの変更または延長コードの使用を止める。 ・電源の近い場所へ移動する
45度と90度の角度が正確に行えない	・ブレード及びテーブルの取り付けが悪い	・取り付けの確認・調整

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

株式会社 ナカトミ

お客様相談窓口　TEL. 026-245-3105　FAX. 026-248-7101

受付時間10:00～12:00　13:00～17:00(土・日・祝日を除く)